

「第12回緑の学会 地域包括ケアシステム」

2020年、初のリモートによる“緑の学会”を開催いたしました。“グループホーム 材木町みどり”に千曲莊病院院長 遠藤謙二先生をお招きし「認知症～その人とご家族を支援する取り組み～」をテーマにご講演頂きました。多岐にわたる充実したお話を楽しくお聴きすることができました。ありがとうございました。2日目には、各事業所によるリモート発表を行いました。



2021年は第12回目、“地域包括ケアシステム”をテーマに取り組んでおります。開催日時は11月18日、19日を予定。コロナ禍でもエネルギー溢れる学会にしてまいります！詳細は追ってご紹介させていただきます。



「丸山晩霞記念館 “どうぶつ尽”パネル写真を展示」

2021年1月～2月に開催された“どうぶつ尽”「〇〇すぎるネコ」沖 昌之 氏のパネル写真の一部20枚を法人内施設に飾らせて頂いております。

佐藤聰史館長は「展示会の反響が大きく、このままパネルを処分するのは忍びない。沖昌之さんと話をして、福祉施設などへ提供して少しでも楽しんで頂くことが、有意義な活用になるのでは。」との想いを伺いました。

野良猫たちの“今ここで生きている”姿に感動します。ご提供頂き大変にありがとうございます。



緑風会の 仲間たち

認知症対応型共同生活介護 グループホーム材木町みどり

令和2年5月21日、上田市材木町に開設されました。

少人数で家庭的な雰囲気の中、それぞれに家事等の役割を持ちながら過ごして頂く場所です。定員18名、1ユニット9名で認知症ケアの専門スタッフが介護に携わっております。

木造2階建て、木のぬくもりが感じられ、あたたかな雰囲気に包まれた構造です。協力医療機関（祢津診療所）と連携し、日常的に医療・看護・リハビリテーションの支援が受けられます。

ご利用できる方は、要介護認定「要支援2以上」の方となっています。

その他詳細・見学等について、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先：0268-75-4484（大牧）



当法人6施設では、
“クックチル”を採用。
栄養・衛生管理ができ、利用者様
との関わる場を増やしております。

～緑風会お便り～ 緑風会をご利用頂いている方からご寄稿頂きましたので、ここで紹介させて頂きます。

「コロナ禍に願うこと

（お名前）
松澤 佳子
様

「段取り八分仕事二分」とよく言われます。ようやくワクチン接種も始まりましたが、新型コロナ感染症を拡げないために繰り出される政策がどうもちぐはぐで、場当たり的に思えてなりません。現場に丸投げする前に、もっと医療・福祉・自治体の知恵をしっかり聞いて、しっかり準備が必要だったのでは。まさに段取り不十分が現場に余計な混乱を招いているのではと感じます。

自分の希望をいえば、そんなにあわてて我先にとワクチン接種をするつもりもありませんが、住んでいる自治体でなくとも毎月の通院でお世話になっている、自分の持病や体調をよくわかってくれているかかりつけ医の先生のところで接種してもらえるようなしきみにしてもらえば安心なのですが。

いったい、いつになつたら安心して暮らせるのか、まだまだ、しっかり手洗いうがいで感染予防の日々が続きそうです。一刻も早いコロナ禍の収束をねがってやみません。



正社員 パート

募集

緑風会ではともに地域を支える人材を求めています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

募集人員 介護福祉士・初任者研修修了者、正看護師・准看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士などその他 それぞれ若干名

※勤務形態等、詳細はお気軽にお問い合わせください。【担当／緑風会事務局】

「坪内祐三を悼む」

緑風会 副理事長
老健ハーモニック東部 施設長 大塚 正廣



坪内祐三さん(2015年撮影)

坪内祐三が去年1月13日に亡くなりました。享年61歳、心不全でした。彼は文芸が中心でしたが、芸術全般に詳しく私は週刊文春の「文庫本を狙え!」の連載を愛読していました。紹介する文庫本の8割位が私の欲しい文庫と一致し、又その蘊蓄と着眼点、感受性は素晴らしいものでした。

私生活では最初の妻とはあっさり合意の下に別れ後再婚。飲酒においては酒乱傾向あり新宿でやくざと説きを起こし、大怪我をし、九死に一生を得ています。

毎日のように古本屋巡りをし文学に関しては明治以後の近代文学から現代に至る迄の目利きで吉行淳之介や田中小実昌、色川武大、後藤明生など好きだった。又、関西の富士正晴との交流などもみられ深い。

行きつけの飲み屋では気に入ったブルース・スプリングスティーンの「サプライズ・サプライズ」で踊り出したり、急に出て行ったりしてしまったようです。

記憶力は抜群で早口で捲し立てるように話し、飲酒のスピードも速かったようです。人間味に溢れ、憎めない人物でしたが生き急いだような人生でした。30歳迄は高等遊民だったと云っていますが、父親はダイヤモンド社の社長で大分恩恵を被ったようです。

飲酒に関しては高級店よりも、むしろ大衆店にこそ愛情を注ぐ人で、いろいろ後輩に伝授したとの事。

家系的には柳田國男の遠戚にあたり、何代か遡ればフランス人の血に行き当たるそうです。亡くなった後の各部屋の蔵書の山の写真を思い浮かべつつ合掌。

あつこ先生 日記 赤頭巾ちゃん テヲトリアッテ

2回目の東京オリンピックが1年順延された事で、私の尼さんヘアはアフロになりました。新型コロナウィルスは変異を繰り返し、不自由で不透明な閉塞感が立ち込めています。こんな時はせめてマスクとヘアスタイルで個性を発揮したくなるのです。

流行病(ハヤリヤマイ)は有史以来あるものだから、歴史的事件もされることながら、『和を以て貴しとなす』とおっしゃった聖徳太子さまも、有効な笏(しゃく)兼用マスクとソーシャルディスタンスが保てたならばもっと日本史は変わっていたかも知れません!?

そんなこんなでありますが、今年も桜は満開になりました!! 梶井基次郎さまがおっしゃる如く『桜の樹の下には朽ち行くモノの堆積と抽出がある』のだ。移り行く真実こそが美しい。

それでよいのだ。サクラサケ! 咲き誇れ!

ここで余興に手品をご披露致しましょう。

さてさて、私のモジャモジャアフロヘアから取りい出しますのは、平和の白い鳩と、情念の真赤なバラの花束だけではありません。

あと3つ

- ① モナリザ愛用キャンディー
- ② ディープインパクトのたてがみで編んだミサンガ
- ③ マイルス・デービスが朗読した“赤頭巾”－グリム童話－のCD・モナリザ“謎の微笑”はこのキャンディーのお蔭よ！
私も一粒舐めたら…ほらね！
- ・神馬ディープさまは、ペガサスになって宇宙を舞っているよ! みえるでしょう?! ミサンガは私の両足首に。
- ・狼も恐れるマイルスの渋い声だから、周波数がトランペットにピッタリ合ってくるのね。下心のある狼は井戸の中よ。

秒針の先の時間潰しは、種も仕掛けもありません。

大同小異のこだわりは、虹の夢に似ている。

赤頭巾ちゃん! やっぱり君は道草してお花を摘むのかい? 眼が離せないナ。

兎にも角にも 色々種々 感謝します! ってことよね。Q

編集後記

- コロナ禍において新たな生活スタイルが出来つつあります。ふと「こんな時は今までどうしていたんだろう」「わたしは何を望んでいるのだろうか」と立ち止まることがあります。外へ向けていた意識が自分自身に向けられる瞬間に新しい発見にも思えて嬉しさすら感じる今日この頃です。(北澤)

緑風会新聞では皆様のご意見・ご感想・ご投稿をお待ちしております。下記までお寄せください。

【編集・発行】

地域を愛し、人を信じる
医療法人 緑風会

《緑風会広報委員会》

VEGETABLE
OIL INK
UD Font
環境に優しい
植物油インキを使用しています。
視認性に優れた
ユニバーサルデザイン
フォントを使用しています。

〒389-0506 長野県東御市祢津346-1 Tel:0268-61-0008 Fax: 0268-62-0057

ホームページ: <http://www.ryokufuukai.or.jp/>